



下大和田谷津田だより



2006年 1月号

第71回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

12月4日 小雨

小雨の中、この冬一番の寒さで畦の水溜りには氷も見られました。コースを縮小して一巡しましたが、風で葉を散らす斜面林の雑木の紅葉はきれいでした。虫は寒さで動けなかったのでしょうか、全く見ませんでした。そんな中で、お腹を真っ赤にしてパンパンに膨らませたニホンアカガエルが畦近くにいました。真冬の産卵に備えてもう田んぼの近くに出てきているようです。鳥も少なく、いつもの住人の他は山から下りてきたアオジの声がしている程度でした。カヤネズミの巣をカウントする予定でしたが雨で衣服がぬれてしまうので中止しました。1月の観察会で行うこととしました。

開花植物：ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、タイアザミ、セイヨウタンポポ、ノゲシ、ノミノフスマ、ウシハコベ

昆虫：オオカマキリの卵囊

野鳥：ヒヨドリ、メジロ、アオジ、キセキレイ、シジュウカラ、シギsp、スズメ、ハシブトガラス

その他：イオウイロハシリグモ、ニホンアカガエル、メダカ、カヤネズミの巣

(参加者：大人8人、子ども1人；報告：網代春男)

第55回谷津田プレートッド・プロジェクト(YPP)

「古代米もちつき」

12月23日 晴れ

冷え込んだ谷津田には厚い氷が張り、畦には何層もの霜柱ができていました。でも燦々と陽ざしが注ぐ日だまりはぼかぼか。そんな中、今年を締めくくる恒例のもちつきをしました。つくのは豊作だった古代米の緑米。



時計ストーブで起こした火でお米をふかし、臼と杵でベッタン、ベッタン。大人も子どもも早くつきたくて臼の横には行列ができました。つき上がったほかほかのお餅はさっそく、からみ餅(大根おろし)、きなこ、あんこ、納豆、しょうゆと様々な味付けでみんなの口に。2升ずつついたお餅があつという間になくなるほどのおいしさ！谷津は笑顔で一杯になりました。もちつきの横ではたき火で焼き芋をしました。火遊びが大好きな子どもたちにいつもたき火は人気です。お腹がいっぱいになったら、弓矢あそび、種とばし競争、べいごま、けん玉などいろいろな遊びに興じたり、たき火の周りで話をしたり、初冬の谷津田でのんびり過ごしました。

もちつきが終わった後、谷津を散策して野鳥を観察しました。今年は冬の鳥たちが降りてくるのが遅いのでしょうか、例年よりも数が少ないようです。それでも枯れ野に色鮮やかなカワセミやまん丸の目が愛くるしいモズの姿を望遠鏡で大きく見ることができて、歓声があがっていました。

(参加者：大人25人、小中学生13人、幼児2人、報告：高山邦明)

下大和田季節のたより

12月29日 2羽のノスリが飛翔、アシ原にベニマシコの姿。ツグミも見られ冬鳥が揃ってにぎわう(田中)

12月30日 アシ原でシジュウカラとエナガの群れが餌さがし。凍った谷津田でセグロセキレイがたたずんでいた(高山)

新年おめでとうございます。去年は天候に恵まれてコシヒカリも古代米も豊作でした。今年で6年目を迎える下大和田での米づくり。今年もいろいろなイベントで楽しみながら米づくりを続けていきたいと思っております。みなさんのご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

高山邦明